



# PORTFOLIO

2021-2022



SAKI SUGIURA

# 自己紹介

名前：すぎうら杉浦 さき早紀

生年月日：1999/06/17

出身地：東京都

趣味：カメラ、舞台鑑賞、映画鑑賞、散歩

特技：瓶ビールを綺麗に 7:3 の割合で注ぐ

基本スキル：Illustrator、Photoshop、Vectorworks、  
Lightroom、色彩士検定 3 級

自己 PR：

私は憧れのデザイン業界に進むため大学から専門学校へ進路を変更しました。2年間という短い時間で自身の力を養うため学内の学びだけでなく、色彩士検定など自主的な学習にも力を注いできました。将来的にはイベント空間やディスプレイなどといった非日常空間のデザインに携わる仕事に就きたいと考えています。また社会で働いていく中で、大学で学んだこと、専門学校で学んだことそれぞれを生かし大学中退というマイナスなイメージをプラスに転じ、自身の長所である粘り強さをさらに伸ばしていきたいと考えています。



# 目次

P.1 自己紹介

P.2 目次

P.3~6 イベント空間

「視覚と嗅覚で楽しむ クロード・モネの世界」

P.7~12 1st EXHIBITION 「学生ホールリノベーション」

P.13~16 ショップデザイン 「旅するジューススタンド」

P.17~18 スタイリング 「Spring Wedding」

P.19~20 見立て 「Departure」

# 視覚と嗅覚で楽しむ クロード・モネの世界

- ・アーティスト 10 名の中から 1 名を選び、表現技法や特徴を取り入れた空間をデザインする
- ・ W3.000 × D3.000 × H2.400
- ・ 模型 1/10

**クロード・モネと香水ブランド  
diptyque paris のコラボ商品の展示  
ブース**をデザインしました。モネの作品『**ジヴェルニーの庭**』をメインに『**睡蓮**』をモチーフとした水辺を取り入れ、上品で大人らしい空間になるよう意識しました。また花紙で製作した花で空間を取り囲むことで、『ジヴェルニーの庭園』の花や草木の香りが漂ってくるような雰囲気を実現しました。















## 模型

『ジヴェルニーの庭』の花が咲き乱れ、穏やかで静かな空気が流れる様子を表現するため、**花壇をイメージした商品台**をデザインしました。模型では紙粘土と水彩絵の具で制作し柔らかさとあたたかさを表現しました。また壁を覆う枝垂れは私が作品を見た時に特に印象に残った、天井から垂れ下がる草花を再現しました。

『睡蓮』の水辺は花紙を一つずつ千切り色を重ねることで印象派の特徴である、**筆触分割の技法**を表現し、花紙の上から塩ビ板を重ねることで水の透明感と印象派が大切にしていた**光の動き**を表現しました。

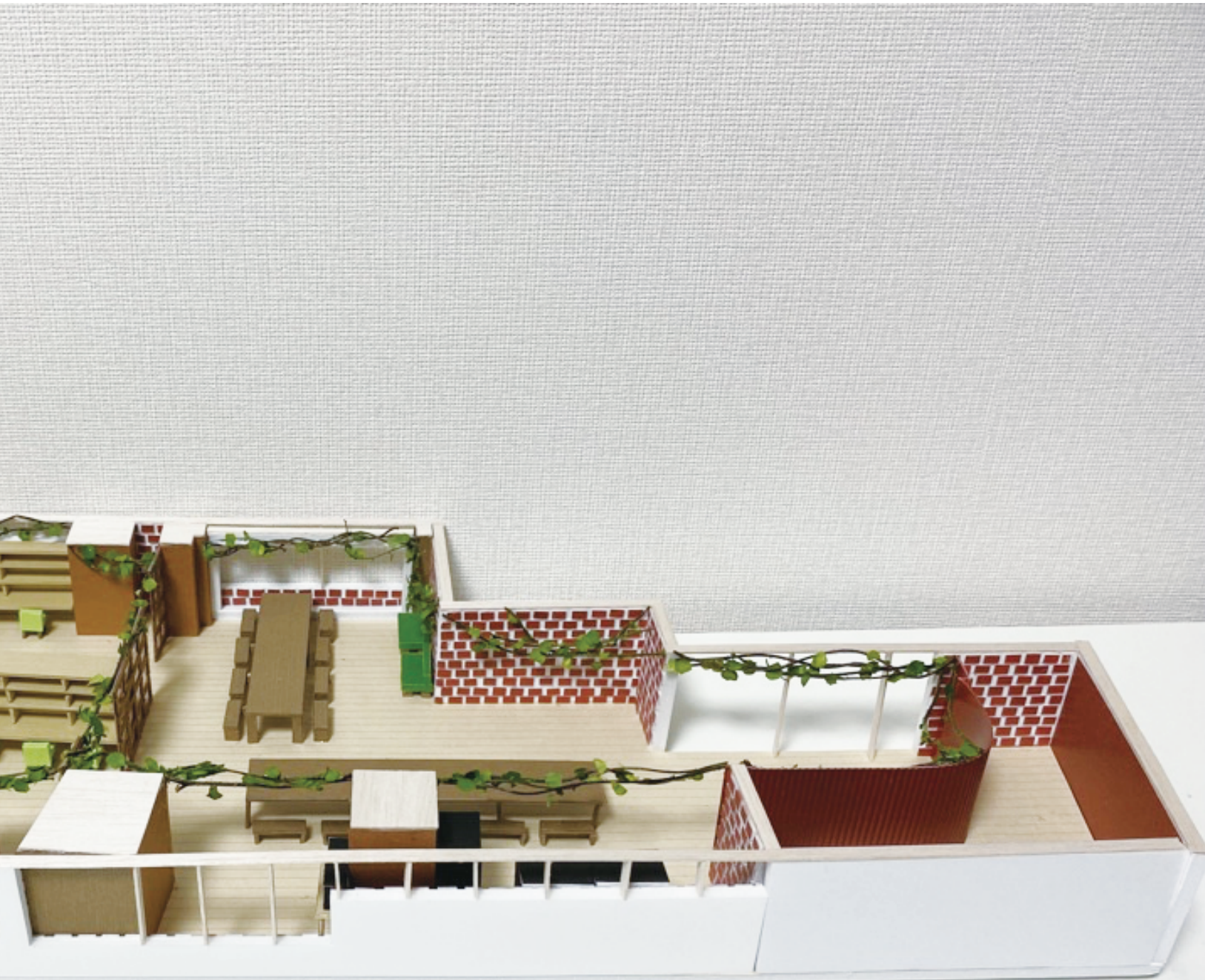


# 学生ホールリノベーション

- 校舎内にある学生ホールをリノベーション
- ・ 2000 冊のデザイン書籍が収納できるライブラリーを作る
- ・ 彩のあるカフェテリアをデザインする

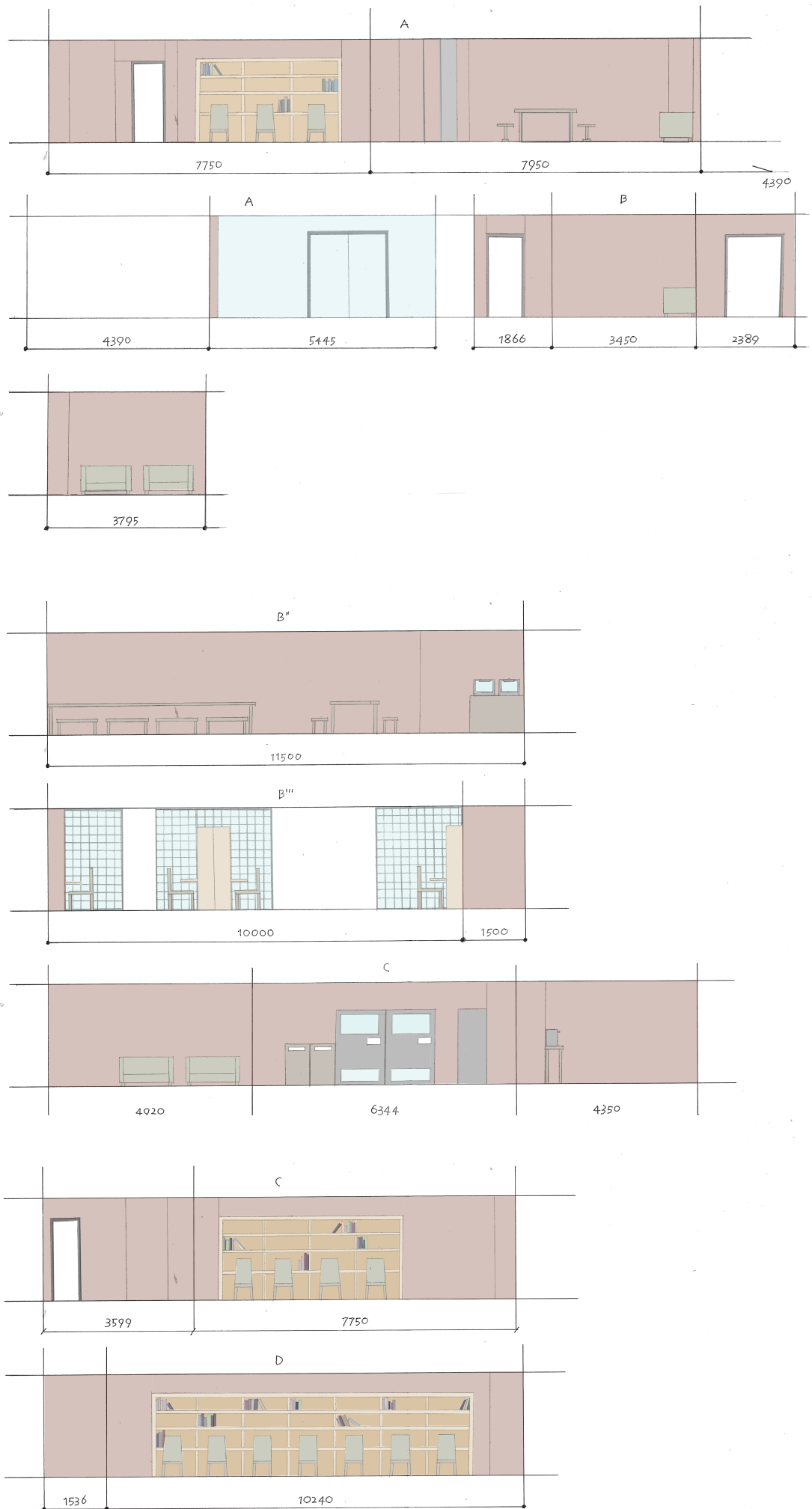
メインテーマは「**離れているけれど一緒にいる**」、コンセプトは“**学生たちの秘密基地**”です。コンセプトからツリーハウスの着想を得てデザインしました。



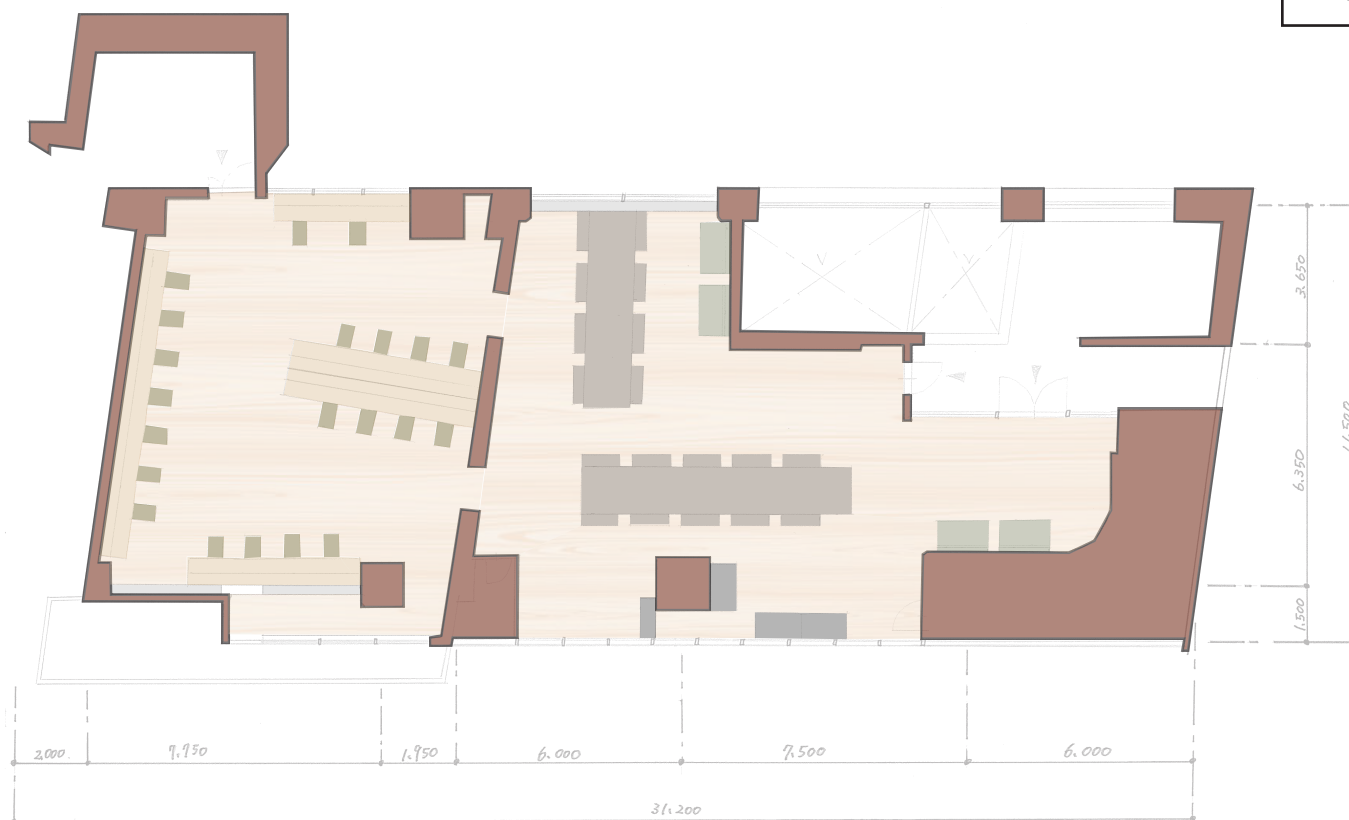




展開図







ライブラリーとカフェテリアの両エリアを完全に分けることで**気持ちの切り替え**が出来るような空間にしました。  
 ライブラリーのスペースは人目を気にせず各々の作業に集中出来るような空間になるよう、それぞれが**向かい合わない形**にしました。反対にカフェテリアは知り合いともそうで無い人とも交流が出来るよう、長テーブルと長椅子で**隔たりの無い空間**にしました。また2人掛けのソファを4台設置し、課題や授業の合間の癒し空間になるよう工夫しました。

パース





## 模型

タイトルの「一緒にいる」を感じさせるため、部屋の仕切りに室内窓を用いることで二部屋の繋がりを表現し、校舎と同じ褐色のタイルを壁に用いることで校舎との一体感を表現しました。**ツリーハウス**の表現として床と天井、什器を木材に取り入れました。また、天井に蔓を這わせることで木の上にあるツリーハウスの環境を表現しました。







椅子やソファには緑色を用いて木材との調和やツリーハウスの雰囲気を感じさせるよう意識しました。また自動販売機や電子レンジは黒色にすることで全体の淡い色味に締めまりを持たせました。





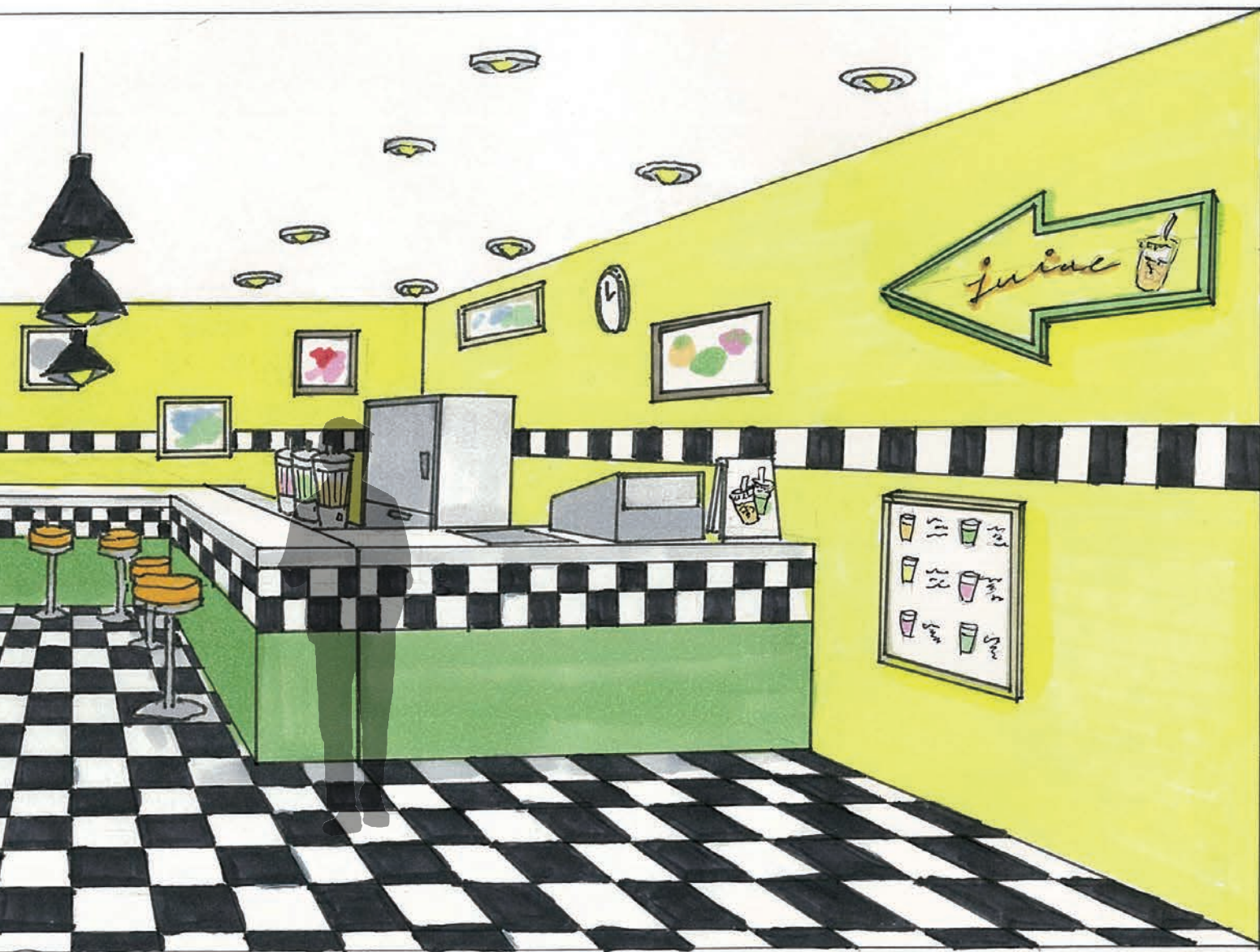
# 旅するジューススタンド

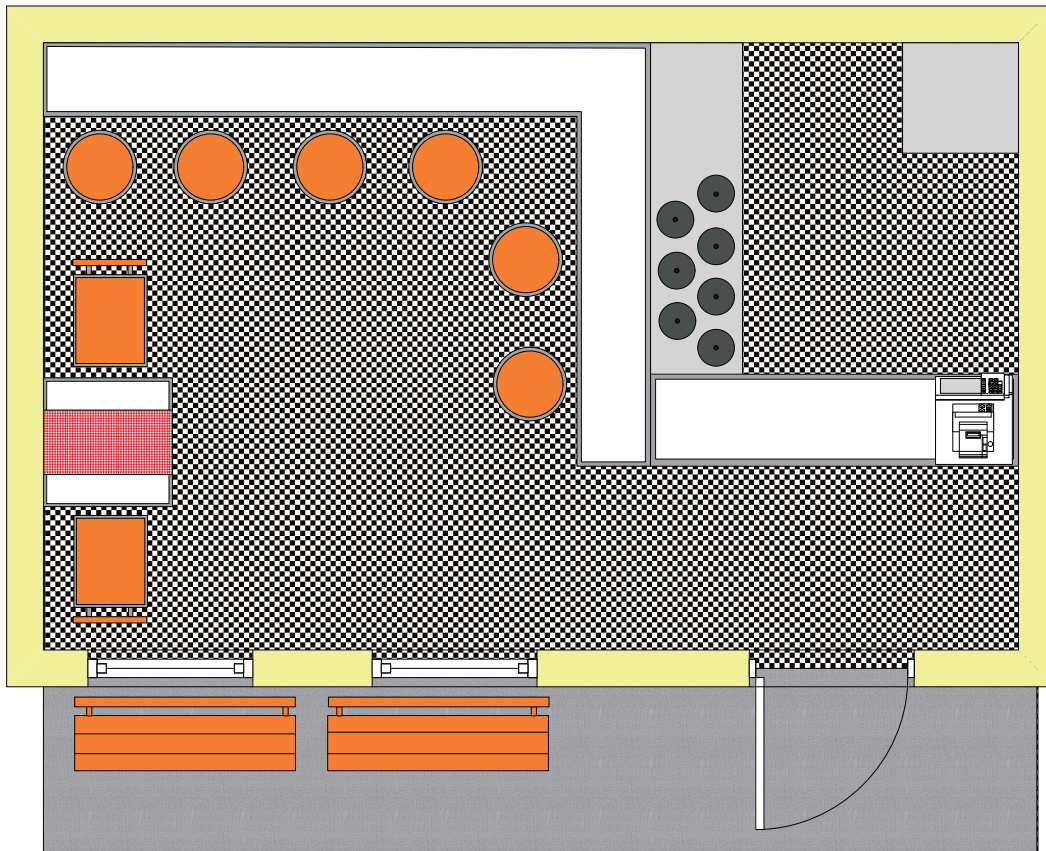


- ・ジューススタンドのデザイン
- ・特徴的で目立つ看板をつける
- ・フレッシュをイメージさせるデザイン
- ・W5.400×D4.500×H2.700

1950年代に流行した“**アメリカンダイナー**”をモチーフに、搾りたてジュースのフレッシュさとポップさを感じさせるようなデザインにしました。

また若者や女性だけに限らず男性や高い年齢層の方にも親んでもらえるよう、アメリカンダイナーという賑やかなモチーフの中でも落ち着いた雰囲気になるよう意識しました。





平面図

ジュースのフレッシュさを表現するために黄色やオレンジ、緑などの暖色をメインにアメリカンダイナーの象徴である白黒のタイルや無機質な什器、カウンターを取り入れました。

またカウンターとキッチンを向かい合わせに配置し、スタッフと利用者が一緒に楽しめるような空間にしました。



看板

アメリカンダイナーの賑やかな雰囲気に合わせてポップなデザインにしました。

クライアントの要望であるフレッシュをイメージさせるデザインとしてロゴが水の中に落ちて跳ね上がる水飛沫を取り入れ、特徴的で目立つようなデザインとして Juice Stand の文字のいくつかをジュースに用いられている果物や野菜に見立て、全体的な色味もジュースを連想させるものにしました。





## 外装

店外には1人掛けのベンチを2脚取り入れ、屋外であってもゆったり出来る空間にしました。壁面は内装と同じ黄色をベースにドアや窓枠はカウンター同様に緑を用いました。また路面側に大きな窓を設置する事で**男性や年齢層の高い方でも入店しやすい雰囲気**になるよう工夫しました。

椅子を制作する授業ではジューススタンドの店外に置くベンチを実際に制作しました。肘掛けにはダイナーの最大の特徴である白黒のブロックチェックを取り入れ、椅子全体にステッカーを貼り付けることでダイナーの賑やかさを表現しました。また自分でデザインした**ジューススタンドのステッカー**も作成し、店舗との一体感が出るよう工夫しました。座面塗装のムラや全体のアンバランスさで使い古したレトロな雰囲気を演出し、グレー塗装部は均一に仕上げることで締め持たせました。

# Spring Wedding

## コンセプト

### 「思い出」

- ・小学校の時に同じクラスだった
- ・20代後半
- ・学生時代の思い出を大切にしている
- ・明るく穏やかな性格
- ・ピクニックが好き



## 衣装

学生時代の「思い出」から**学生服**を連想させる、ネイビーとホワイトのドレス、タキシードを選びました。空間自体を華やかな配色でデザインしたので、その中でも浮かず、目に留まるような色味にしました。

## ウェルカムスペース

入口であるウェルカムスペースは小学校生活の入口である**入学式**をイメージしてデザインしました。大きな桜の木は桜並木を、枝の掛けられた時計は時間を小学生時代に巻き戻す様子を、卓上の桜が生けられた丸い花瓶は思い出のカプセルをイメージしました。





## ゲストテーブル

ゲストテーブルは小学生の**幼さ**と春の**暖かさ**をイメージしました。テーブルフラワーにはチューリップを用い、テーブルランナーにギンガムチェックを取り入れることで明るく可愛らしい印象にしました。



## 高砂

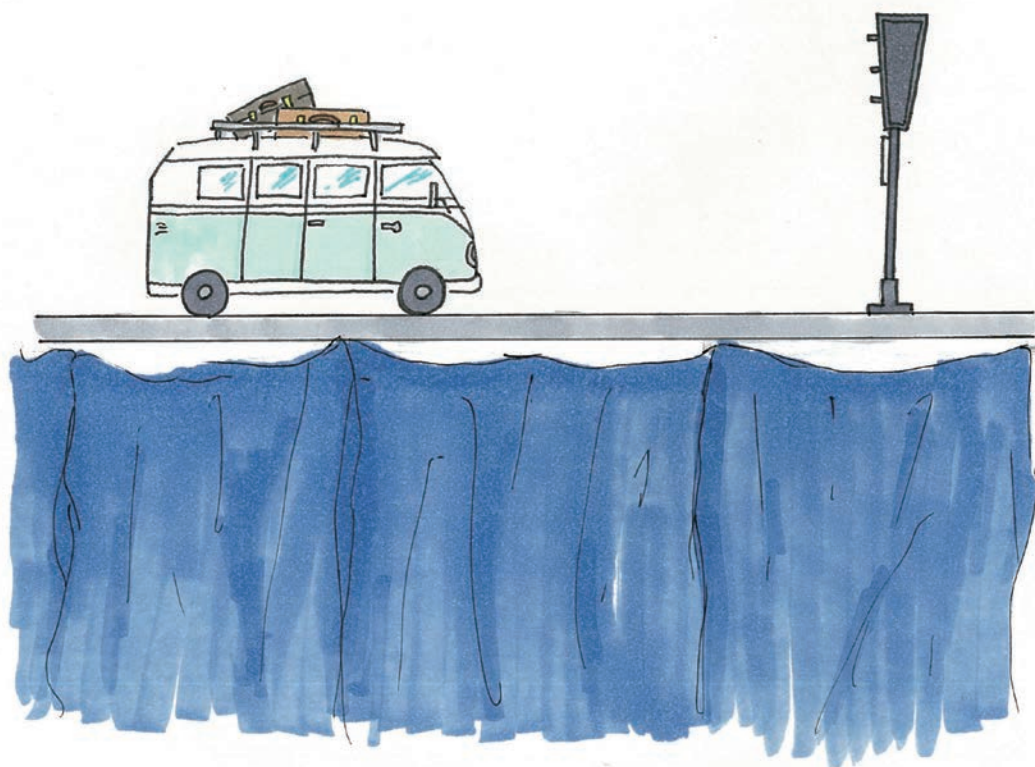
高砂は**放課後の公園**をイメージしてデザインしました。大きな木とテーブルの蔭で公園の雰囲気、足元のランドセルで放課後にカバンを置いて遊びに行く様子を表現しました。またテーブルフラワーはパステルカラーで丸みを帯びたものを取り入れることでチューリップの雰囲気を邪魔しないよう意識しました。



見立て

# Departure

デザイン画



自分の部屋のどこかに「非日常空間」をつくる課題

カーテンレールを道路に見立て、こちら岸から向こう岸にドライブ旅に出る様子を表現しました。旅に出発する高揚感とスピード感を込め、「今まさに何かを始める」という意味の「Here we go!!」をコンセプトに設定しました。







### ワーゲンバス

ワーゲンバスの車体は元々ピンクだったものを青いカーテンと相性が良く、爽やかな印象のミントグリーンに塗装しました。ルーフには荷物置きを取り付け、粘土で制作したトランクケースを積み、**長旅に出る様子**を表現しました。

### 信号機

信号機を縦型にすることで、ワーゲンバスの**レトロな雰囲気**と調和が取れるよう工夫しました。信号機に取り付けた速度標識の**時速 0.3km はナメクジが歩く速度**を参考にし、ミニチュアの世界観を表現しました。

